



Iwakuni City Topics

まちの話題

錦帯橋のう飼

6月1日、鮎漁の解禁日に合わせ、岩国の夏の風物詩「錦帯橋のう飼」が始まりました。

午前中、錦川水神社で安全祈願祭が執り行われ、シーズン中のう飼遊覧の安全運航と盛況を願いました。

午後7時、遊覧船に次々と乗り込んだ見物客は、川面からの涼しい風がそよぐ中、夕暮れ時の清流錦川と錦帯橋の美しい風景に魅了されていました。

辺りが完全に暗闇に包まれる頃、かがり火に照らされた鶺鴒舟が現れ、鶺鴒の巧みな手縄たなわさばきで鶺鴒が鮎を捕らえるたび、見物客から盛んに拍手や掛け声が送られました。

「錦帯橋のう飼」は9月10日まで開催される予定です。





50km完走したよ！

5月8日、高森野外活動振興会の主催によるサイクリング大会が開催されました。小学4年生から大人まで26人の参加があり、周東中央グラウンドをスタートし、岩国城山までの往復50kmをツーリングしました。距離が長く途中険しい坂道もありましたが、参加者全員が完走し、充実した楽しい一日になりました。



北中山こども神楽「ちびっこ夢広場」出演

5月5日、福岡県の太宰府天満宮で開催された「ちびっこ夢広場」に美和町の北中山こども神楽が出演しました。子供たちは参道をパレードし、ステージでは大勢の観客の前で日ごろの練習の成果を発揮しました。この日は新たに加入した保育園児も一緒に舞を披露し、多くの拍手をもらっていました。

Iwakuni City Topics | まちの話題



「ちぢみ 玖珂縮織り」伝承の技を体験

5月10・17・24日の3日間、玖珂駅北にある逸品館で「玖珂縮・織り&染め体験講座」が開催されました。12人の参加者は「玖珂縮の会」の指導を受けながら、自分たちで染めた糸を使った手織りのコースター作りや機織り機はたおの体験などを通し、江戸時代から伝わる玖珂縮の魅力を感じていました。



こいのぼり運動会

5月14日、ほんごう保育園で「こいのぼり運動会」が行われました。子供たちはみんなで作り上げたこいのぼりを飾り、ダンスや徒競走に一生懸命取り組んでいました。保護者や近所のグループホーム本郷の皆さんも一緒になって大玉ころがしなどの競技に参加し、仲良く触れ合いながら楽しい時間を過ごしました。



笑顔がふえる コミュニケーションマナー

5月20日、美川コミュニティセンターで講師に日本秘書クラブ役員の廣兼浩子さんを迎えて「美川カレッジ講習会」が開催されました。友人との実体験をもとにした講演では、良好な人間関係を築くためには「思いやりの心」「相手の立場に立つこと」など、相手への配慮が大切であることを学びました。



「アサリ、大きいね！」

5月22日、潮風公園みなとオアシスゆうで「親子でアサリ掘り」が開催され、339人が参加しました。開始の合図で一斉に区域内に入った親子は、熊手を手に波打ち際の砂を掘り始めました。アサリを探し当てるたびに「とれたよ！」と笑顔があふれ、参加者は初夏の潮風公園を満喫していました。



「図書館の父」田中稲城翁^{いなぎ} 胸像除幕式

5月28日、中央図書館で、市出身で初代帝国図書館長となり「図書館の父」と称えられた田中稲城翁の胸像除幕式が行われました。像を寄贈した立志の碑^{いしづみ}建立委員会^{としなみ}の佐古利南代表から福田良彦市長に目録が贈呈され、参加者は「図書館は国民の大学です」と図書館の必要を説いた先人に思いをはせました。



にしき生涯学習講座 「よろず学問所」開講

5月24日、錦ふるさとセンターで「旅するホルン吹き、癒しのホルン演奏会」と題して、蔵田亜由美さんによる演奏会が開催されました。フレンチホルンとアルプホルンの癒しの音楽と心地よい響きに参加者は至福のひとつ時を過ごしました。参加者全員で「上を向いて歩こう」「ふるさと」の合唱もあり、貴重な体験になりました。